

ふ
つ
と
の



議会だより

町花：山百合

12月定例会 No.134
平成28年1月20日

補正予算：基金積立1億1,200万円……………	2
マイナンバー法の施行に伴う条例制定……………	4
一般質問は子育て支援など7議員が14問……………	6
追跡レポート：小学校跡地の利活用……………	13

古殿中学生 議会を開催



1千2百万積立

資源調査事業に6,160万円



12月定例会は12月11日から17日までの7日間の会期で開催されました。町長から提出された議案は全13件で、受理した請願は2件でした。主な議案は個人番号法の利用に関する条例、同法に関連する税関係条例の改正のほか、現在は就学前乳幼児と18歳までの児童生徒に分かれている医療費助成を一本化する「子ども医療費助成条例」、各会計補正予算、議員による発議案2件でした。すべての議案は原案のとおり可決されました。

一般質問には7人の議員が人口減少対策や、子育て支援の考え方など14問に論戦を展開しました。

主な補正内容

1億4717万5千円を増額し、予算総額を48億4474万7千円とするものです。

歳入では町有部分林の契約満了による立木代2131万8千円のほか、町民第1体育館改築事業に過疎債の充当が認められ、これにより文教厚生施設整備基金からの繰入が減少しました。

主な歳出ではふくしま森林再生県補助金を活用した航空レーザー測量による森林資源調査委託料に6160万円、イノシシ被害対策として電気柵補助金154万円、合併処理浄化槽設置補助金295万円、町産材利用住宅建築補助金30万円などです。補正に伴う余剰金1億1283万4千円は公債費の償還「町の借金返済」に備えるため減債基金に積立しました。

減債基金に1億

航空レーザー測量による森林



町の面積の8割を占める森林資源

減債基金とは

地方債（町の借金）の償還は歳入に關係なく一定額を毎年支出しなければならぬため、法律に基づき設けられている基金。現在、町の借金は元金で約45億あり、利子も含め年に5億円前後を返済しています。

各会計の補正状況と採決結果 （1万円未満切り捨て）

会計区分	補正した金額	補正後の予算額	採決
一般会計	1億4,717万円	48億4,474万円	全員賛成
特別会計			
国民健康保険	4,350万円	8億2,055万円	
簡易水道	▲2,957万円	1億1,599万円	
農業集落排水事業	▲418万円	7,475万円	
林業集落排水事業	▲17万円	2,692万円	
介護保険	399万円	6億7,966万円	

可決した主な条例等

個人番号の利用に関する条例

個人番号法（マイナンバー制度）が今月から施行されるため、町の利用範囲等を定める条例の制定です。

様々な行政サービスに必要な身分証明として利用できる「個人番号カード」を希望する方は、町に申請すれば今月から交付されます。カードの交付は無料です。

町税条例等の一部改正

町民税や国民健康保険税・介護保険料の減免申請を行う場合、これまでは定められた納期限の7日前までの申請となっていたものを納期限までと改めるとともに、減免申請書に個人番号の記入を追加する条例の改正です。

ひとり親家庭医療費助成 条例の改正

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に基づき、裁判所から保護命令を受けた児童を持つ家庭を、ひとり親家庭とする条例の改正です。

子ども医療費の助成に関する条例

これまで子ども医療費の助成は就学前乳幼児と18歳までの児童生徒に、それぞれ分かれた条例・規則をもとに行われていましたが、これを一本化し手続き等の簡略化を図るための条例制定です。

請願審査

◎公立小中学校の教職員数の充実確保のための意見書の提出を求める請願書

請願者 福島県教職員組合
中央執行委員長 角田政志
石川支部長 星 恵子

全員賛成で採択

◎TPP交渉に関する請願

請願者 福島県南農民組合
代表者 大竹利男

全員賛成で採択

意見書

◎公立小中学校の教職員数の充実確保を求める意見書

提出者 佐川勇司
賛成書 佐藤弘信
外3名

全員賛成で可決

◎TPP交渉に関する意見書

提出者 矢内泰吉
賛成書 青柳藤治
外2名

全員賛成で可決



常任委員会の活動

町公民館改修工事と町民

第1体育館解体工事を合同調査

総務常任委員会と産業建設常任委員会は、町公民館改修工事と町民第1体育館解体工事現場の合同調査を行い、担当課及び工事関係者から進捗状況等の説明を受けました。

その後、総務常任委員会は中間貯蔵施設へ汚染土壌等の搬出が完了した仮置場を調査しました。

また、それぞれの委員会に付託された請願の審査を行い採択としました。



公民館ロビー部分拡張工事現場

全員協議会

町民第1体育館 新築計画の概要 固まる

解体工事とともに新しい建築設計が進められている町民第1体育館の、間取りなどの配置や規模等について協議する全員協議会が11月30日・12月11日同じく17日・25日と都合4回開催されました。

バスケットボールコート2面を基本に観覧席や柔道や剣道を行うスペースを含め、全体の建築面積や工事費などについて多くの意見が交わされました。

町が示したレイアウトに基づき、これまでの体育館のように玄関の上を一部2階建てとして、柔道や剣道などの練習ができるスペースを組み入れた内容で、実施設計を進めることになりました。

町民の声を伝える

町政に生かす

町の考えをたずねる

一般質問

一般質問は、12月16日に7人の議員が14問の質問を行いました。質疑の一部を要約してお伝えします。



さとう ひろのぶ 議員
佐藤 弘信

地域おこし協力隊の活用は

有効な方策と考えます

町長

地域おこし協力隊は、地域のブランド化や地場産業の開発・販売、農林水産業への従事等、地域協力活動に従事してもらい、合わせてその定住・定着を図り、地域力の維持強化を図っていくことを目的としています。

平成26年度には全国の444自治体で1511人の隊員が活躍しています。町の地方創生戦略の策定の中で四つの基本方針が掲げられています。この目標達成のため、地域おこし協力隊の募集につ

いて伺います。

佐藤 報償費・活動費として400万円が特別交付税として支援があるが町として負担はあるか。

町長 この範囲内では町の負担はありません。

佐藤 協力隊員の募集にかかる経費はどうなるか。

町長 上限200万円の財政支援があります。

佐藤 活動を行う期間は概ね1年以上3年以下となっているが、活動の継続は可能か。

町長 継続は可能です。起業する方については、経費として1年間ですが100万円を上限に交付

税による財政支援がありません。

佐藤 活動した地域での定住が6割を超えており定住することに大きな可能性があるが、どう考えるか。

町長 大いに期待できるものがあります。

佐藤 町の地方創生総合戦略の中で、隊員による各種施策の支援を得るために、積極的に取り組むべきと思うが見解は。

町長 人口減少や高齢化が進む中において、移住・定住を図ることは有効な方策の一つと考えます。

森林認証で林業振興は

前向きに検討します

町長



森林認証で信頼性を得る町産材

森林資源が豊富な我が町は林業の振興に力を入れています。しかしながら林業従事者の高齢化とともに、後継者不足等の課題が山積しております。そのような中で県は林業再生の切り札として期待されている直交集成板の生産拡大と流通に向け環境保全の証として国際市場で定着している国際規格「森林認証」の取得に財政支援するとの報道がありました。東京オリンピックで大量の木材の需要が見込まれることから、環境税を5年間延長する方針です。町産材の品質が良いという結果も公表されています。

た森林から生産された木材・木材製品に対して高い信用性が得られます。森林認証の取り組みについて伺います。

佐藤 森林認証の前向きな取り組みは考えられるか。

町長 森林認証の重要度は増しており、前向きに検討します。

佐藤 取り組みにあたっての課題はなにか。

町長 審査に合格する必要がある、費用負担も必要です。

佐藤 町有林をモデルとして、認証を受けることは出来ないか。

町長 情報収集の観点から一考に値する提案です。



きど ひさやす 議員 木戸 久康

災害等緊急時の認識と対応は

地域防災計画で対応します

豪雨災害や台風等による災害は必ず起きます。今までは町の対応はしっかりしていたと思います。最近少し古殿町どうしたのかなと感じることがありましたので、今後のために質問します。

木戸 災害時の町の対応と関係機関の連絡体制はどのようになっているか。

町長 町内に災害が発生し、又は発生するおそれがある場合は、応急対策を迅速かつ効率的に推進し、それぞれの防災関係機関は組織及び機能のす

べてをあげて応急対策活動に協力するものとしております。

木戸 東禅寺裏側の山で土砂崩落が発生したが対応はどうしたのか。

町長 夕刻に連絡を受け職員が現場に赴き、民有林が崩壊し、土砂が民有地の道路に堆積していることを確認しました。民有地から民有地の被害であり、生命財産に緊急的な被害はないとの判断から、土砂撤去等は民有地側で行うことといたしました。

この件については26年度は混乱に混乱をしました。第1体育館関連も、用地確保や測量業務委託についても疑問点がありますので質問します。

山林の崩落箇所は県中農林事務所森林林業部に情報提供し対策を相談した結果、県が事業主体となり工事を実施することになっております。



東禅寺裏山崩落箇所

公民館改修と体育館建設

予定地の動向は

計画に基づき進めていきます

町長

この件については26年度は混乱に混乱をしました。第1体育館関連も、用地確保や測量業務委託についても疑問点がありますので質問します。



新体育館建設予定地

公民館改修工事が一時ストップしたが、その理由は、設計変更の可能性についての協議はしていましたが、ストップの指示はしておりません。

木戸 公民館改修工事が一時ストップしたが、その理由は、設計変更の可能性についての協議はしていましたが、ストップの指示はしておりません。

木戸 体育館建設地の用地は借地も含めて買収できるのか。

町長 水田の六反部については地権者の前向きな感触を得ていることから事業認定後購入したいと考えております。また、現在地の四反部の購入については、今後も話し合

教育長 建設予定地の水田は8月に草刈りを町シルバー人材センターに作業を依頼し、委託料を支払っております。建設予定地であり、用地購入の予算をいただいていること、そして測量が入りますので町が行ったものです。

教育長 委託業務した拡張予定地の草刈りは、なぜ町が行ったのか。その支払いはどうしたのか。

教育長 建設予定地の水田は8月に草刈りを町シルバー人材センターに作業を依頼し、委託料を支払っております。

町長 水田の六反部については地権者の前向きな感触を得ていることから事業認定後購入したいと考えております。また、現在地の四反部の購入については、今後も話し合

教育長 建設予定地の水田は8月に草刈りを町シルバー人材センターに作業を依頼し、委託料を支払っております。



さかわ ゆうじ 議員
佐川 勇司

森林活用と雇用創出は

様々に努力します

町長

定住促進と人口安定がこれからの課題です。子育て支援と働く場所づくり、雇用創出が早急な対策と思います。企業誘致はもちろんですが、なかなか難しい状況と考えます。そこで町の8割を占める森林資源を活かした取り組みが、今後の町の活性化につながる要素の一つだと思います。そこで伺います。

佐川 これまで町が取り組んできた「千年の森育成事業」の成果と国県の支援内容は。

町長 平成22年度からの直近の5年間では、間伐が390ヘクタール、作業道開設が88キロメートル、間伐材搬送支援が4万8000立米実施されておられ、担い手育成に繋がる林業経営の持続的な支援策として、大きな役割を果たしています。国県の造林補助制度もあります。町独自の支援策として平成13年度に「千年の森事業」を創設したところです。

佐川 町内森林の情報管理が必要ですが、位置、



間伐推進に向け期待される新たな森林情報システム

面積、所有者、材齢、材積の現況は。
町長 森林簿などと同様に県事務の情報管理となっています。町では平成19年度に独自の森林情報システムの整備を進め、森林所有者への情報提供助言などを行っています。
佐川 団地化による計画的な整備と所有者との管

理委託契約的な今後の取り組みは。
町長 森林情報システムを利用してつつ造林補助要件を満たす団地化を進めており、5年間の森林経営計画を森林組合が事業主体となり実施しています。管理委託契約的な取り組みは今後検討します。



林業関連施設が予定されている旧大原小跡

佐川 林業関連公社と雇用促進協議会を設立し、イターン者などの積極的な受け入れ支援はどうか。
町長 公社等の設立は極めて慎重な対応が必要で、イターン者の受け入れや雇用・定住促進も含めて様々な取り組みに努めていきます。

佐川 森林特産品開発や直接販路の拡大など林業の六次化推進による雇用創出はどうか。
町長 「組手仕」試作な

ど町産材の取り組みの新たな用途開発に取り組んでおりますので、町内事業者でこれらを参考に特産品の製造、販売を行っていただければ販路拡大や雇用創出に繋がるものと考えます。
佐川 森林資源などの地域の宝を活かす取り組みとして資源課の庁内設立は。

町長 専門の部署設置と理解しますが、貴重なご意見として検討します。



お母さんと一緒にもちつき

県と連携をとり県内外に
情報提供します

町長

人口減少対策及び
子育て支援は



みどりかわ えいいち
緑川 栄一 議員

岡部町政も四期目に入り、三期12年間の実績を省みまずと小学校統合、こども園の開設等、子育て支援に手腕を発揮されてきたところであります。古殿町の人口は11月現在で5400人と減少の二途をたどっております。そこで新たな子育て支援等を実施し、出生率の上昇を図り人口減少の歯止めとなる対策が必要と考え次のように伺います。



こども園1歳児おやつ時間

緑川 古殿町の出生率は

町長 市町村別特殊出生率は平成20年から24年の

数値としまして、1・64人となっております。

緑川 赤ちゃん誕生祝い

金の執行状況は。

町長 今年度11月までに120万円の祝い金を支給しております。

内訳は第2子が4件、第3子が1件、第4子が1件となっております。

緑川 スポーツ少年団への助成金は。



ミニバスケットボール優勝報告会（全国大会出場）

町長 町内五つのスポーツ少年団に各種大会参加

報償として、年間5万円を助成しております。またスポーツ大会を主催し実施した場合は入賞参加賞等の商品を助成しております。

緑川 中学校修学旅行助成の考えは。

町長 現在のところ考えておりません。

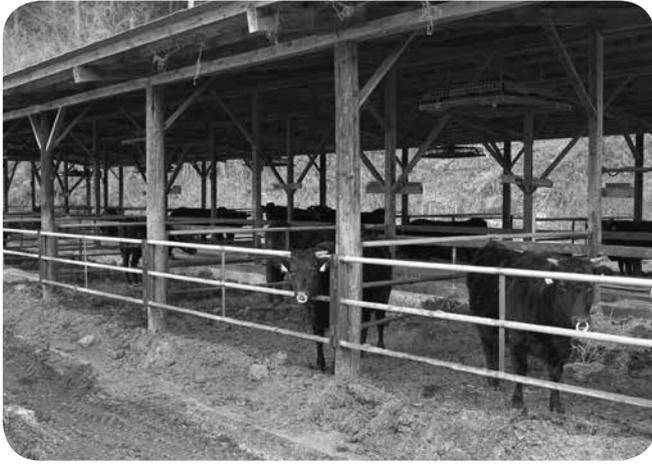
緑川 イターン・Uターン者の受け入れ事業の具体

案は。

町長 県と連携をとり県ホームページの「ふくしま・ふるさとUイターンのサイト」で、町の現況と魅力や各種支援について、県内外に情報の提供を行っております。

緑川 脳ドック、人間ドックの受診者数は。

町長 今年度の脳ドック受診者は132人、人間ドック受診者は48人となっております。



高値が続いている和牛

必要に応じ取り組みを進めます

町長

和牛繁殖農家への支援策は



鈴木 一郎 議員

畜産は農林業が柱の町の基幹産業の一つであります。原発事故などの影響で価格の低迷、農業従事者の高齢化、飼育農家数の減少など生産意欲が減退していましたが、昨年あたりから市場価格の回復により、今後も続けようと頑張っている飼育農家かなりおりますので、どのような支援策を行っているのか伺います。

鈴木 優良雌牛導入事業基金の利用状況は。

町長 平成27年11月末現在、利用農家戸数は24戸、



稲のホールクroppサイレージ

頭数が50頭、貸付金は2124万5340円となっております。

鈴木 野草土手草等の給飼解除の見通しは。

町長 国の通知に基づき

牧草飼料作物については、流通利用の自粛が要請されており、飼料の利用については継続的なモニタリングと厳格な農地管理が求められております。

そのような状況から土手草等の野草の利用自粛の解除については、現時点では大変むずかしい状況にあると考えております。



草地更新事業により除染された草地

鈴木 草地除染した面積は。

町長 平成24年度から26年度までの3年間で町単独の草地更新助成事業により、農家戸数で延べ127戸、面積で54・1ヘクタールの除染を行い、また県の除染対策事業により農家戸数で延べ2戸面積で8・65ヘクタールの除染を行っております。

町長 町単独支援で優良雌牛導入事業基金による貸付と、アカバネ病等の予防接種助成や酪農ヘルパー利用助成を行っており、県家畜改良体制再構築支援事業により1頭当たり6万円の助成を行っておりますが、今後も畜産振興につながるよう必要に応じた取り組みを進めてまいりたいと考えております。



おかべ じゅんいち 議員
岡部 淳一

給食費の無料化に向けた 考え方と取り組みは

現在のところ 考えていません

町長

現在、県内各自治体の中で給食費の無料化に向けた取り組みが段階的に実施されています。

この動きが出てきたのは保護者の負担軽減はもちろんの事、少子化対策、地域の活性化など幅広い

考え方とともに、社会状況の変化により働く家族の姿が変化するなか、3食のなかで最も安定的に食事がとれる食育の観点からも考えられています。

そこで財政的な面も考えながら次の点を伺います。

岡部 保育料の無償化を実施した我が町において子育て支援の観点から給食費を含む完全無料化を目指すべきと思うがいかがか。

町長 給食費の無料化については、現在のところ考えていません。

岡部 小・中学生が納入している給食費は個別及び総額はいくらか。

町長 小学生が一日当たり250円、中学生が290円、総額は平成27年度予算ベースで2330万円です。

岡部 金額的に無料化することは出来るのか、出来ないのか。

町長 無料化については第1点目でお答えした通り考えていません。

今後に向けた施策の中で 確認したい事柄

それぞれに検討しています

町長

現在、今年度施策が主要事業を中心に様々な形で進行していますが、次の事柄について伺います。

岡部 仮置き場からの放射性廃棄物搬送は、どう実施されたのか。また残った廃棄物の処理は。

町長 中間貯蔵施設への除染土壌等の輸送は10月3日に完了しました。

農林系廃棄物については

岡部 鮫川村と共同で給食センター事業を実施している。ここきて町独自の対応を望む声も出ているが今後の考えは。

町長 鮫川村との共同実施が問題が無く行われていることから継続して行きたいと考えています。

町外に建設される仮設焼却施設で処理の予定ですが、

岡部 中学生議会でも指摘された街路灯・防犯灯への具体的対応は。

町長 設置要望のある防犯灯については、緊急性、必要性などを総合的に判断した上で対応したいと考えています。

岡部 高齢者への冬期間対策及び憩いの場などの

設置、今後の見通しは。

町長 現在、旧保育所の建物を活用することで、検討を進めています。

岡部 大原橋拡幅、跡地利用の現況と町道小学校線の改良については、どう対処するのか。

町長 大原橋拡幅については、現在、県と協議中です。また、跡地の利用についても、引き続き検討していきます。

岡部 チェーンソーアート作品の展示方法について各方面、個人から多く

の声が寄せられていると思うが町の考えは。

町長 効果的な展示場所や展示方法については、作品の維持管理も含めて検討を進めます。

その他の質問

- ・ 体育館新築・公民館改修、現時点での確認と方向性
- ・ 議会委員会研修に伴う森林資源活用の方角性



こども園にもサンタのプレゼント



さとう かずお 議員
佐藤 一夫

事業執行の現況と 次年度計画は

安心して生活できる環境
作りに取り組んでいきます

町長

当初予算に基づく事業執行の現況と、次年度の予算編成、事業計画の取り組み・考え方について次の点を伺います。

佐藤 バイオガス発電の基本調査の経過は。

町長 委託業者が基本調査・資料の収集作業を行っています。

佐藤 町産材利用の住宅支援は。

町長 現時点で新築5件、増築1件の申請がありま

す。

佐藤 町民第1体育館の基本設計入札後からの経過と今後の進め方について。

町長 レイアウトのたたき台を11月2日に利用者団体に説明し、意見提案をいただき、議会全員協議会で説明しました。今後は議会と協議を重ね実施設計に入っていきたいと考えています。

佐藤 次年度の重点施策



畜産振興には法人化・共同経営も選択肢の一つ

畜産振興策は

様々な支援を行って行きます

町長

は。

町長 町民体育館建設及び防災行政無線のデジタル化改修工事等を実施するとともに、主要施策と

して取り組んできた福祉農林業の振興、さらに道路整備など各種事業を計画しています。

米価の下落をはじめ農業を取り巻く情勢は非常に厳しい状況にあります。従事者の高齢化や後継者不足など課題も多く、PPPの大筋合意に対する将来不安も追い打ちをかけています。

我が町では、農業は産業の柱であり経済的要因はもとより環境・自然災害・病虫害予防など農業の果たす役割は多岐にわたります。将来想定される食糧危機に対応するためにも行政の支援は必要であると考えます。こうしたなか子牛の値段が高騰しています。その要因はいくつかあると伺っていますが、こうした状況のなかにあつて朗報です。我が町は畜産にも適しており、今後の畜産振興策について、どのような考えをもっているのか伺います。

佐藤 従事者の高齢化、担い手不足の解消に向け農業法人設立等による運営についてどう思われますか。

町長 地域農業の担い手や雇用による新規就農の受け皿として、重要な役割を果たしており、経営を今より発展させ、円滑に次世代に継承したいと思う方は法人化が必要と言われております。また、資金の借入れ等様々な支援制度がありますので、活用次第では大きなメリットがあると考えられます。

佐藤 大規模畜舎建設による共同経営の取り組みについて。

町長 規模拡大の二つの手段ではありますが、現在は全国的に共同経営方式より法人化の流れがあります。

その他の質問

・子育て支援について

追跡レポート

その後 どうなった？

テーマ 小学校跡地の利活用

Q 平成22年12月一般質問から

小学校跡地・校舎の介護施設への利用は

A 町長答弁

地域の意見を尊重した利用法を検討したい。

その後の
対 応

平成24年5月、旧大久田小学校跡に県内で初めてとなるサテライト型小規模介護老人保健施設が開所しました。



介護老人保健施設 サテライト大久田

みんなのページ

No.25

今回紹介するのは、「**古殿町チェーンソーアートクラブ**」の皆さんです。

*いつ頃設立されましたか。

平成20年に町内の愛好者13人より設立しました。
現在は町内はもとより、県内外の愛好者20人で活動しています。

*設立のきっかけはなんですか。

チェーンソーアートの世界で世界的に有名な城所先生の作品に憧れて、愛好者で設立しました。



月1回の練習風景



城所先生の作品制作状況

*どのような活動をしていますか。

月一回の練習会を10月まで行い、11月の文化祭競技会で作品を制作します。

*これからどんなことをしていきたいですか。

現在十二支を、毎年制作中の城所先生の手伝いが出来るようスキルをアップし、チェーンソーアートの魅力を広めていきたいと思っています。



制作した作品の前で記念撮影

*町に望むことはありますか。

町内各地区の杉材を使い、チェーンソーアートの魅力を全国に発信して行きたい。森林の町として全国的な規模の競技会を開催したいと思っているので、その時は応援をお願いします。

作品の展示・保存施設の整備検討もしていただければ、ありがたいです。

“町政を知るよい機会”
議会を傍聴してみませんか

次回の
定例会

3月 上旬

古殿町のホームページからもご覧いただけます。

古殿町 検索 → 町議会へ

ふるどの議会だより 第134号
平成28年1月20日発行

14